

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	小中学校総合学力調査事業			事業開始年度	平成26年度		
担当課	教育委員会 学校教育課			担当者	吉田 正哉		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	03	文化薫る心豊かな人材の育成				
	施策	03	確かな学力と健やかな心や体を育む学校教育				
	基本事業	01	確かな学力の育成				
事業の目的	児童生徒の学力・学習状況を客観的に把握し、その結果を基に指導法の改善等に生かし、より効果的に学力向上を図りたい。						
事業の概要	・小：国・算・学習意欲と生活様式の調査 ・中：国・数・学習意欲と生活様式の調査						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	5年度	6年度	7年度			
	実績/当初予算	実績	実績	当初			
	総事業費	83	37	0			
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	5年度実績	6年度実績	7年度計画	8年度計画
	成果	調査結果を分析し授業改善等に生かしている学校の割合	%	100	100		
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	国の学力学習状況調査結果を分析を行い、各校の担当者を集めた「学力向上推進研修」を実施し、教育施策及び学校・学級・教科指導の計画に生かすことができた。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ○現状どおり継続 ●廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ○現状 ●縮小		業務量	○拡大 ○現状 ●縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	学校ICT管理事業			事業開始年度	令和 2年度		
担当課	教育委員会 学校教育課			担当者	笹沼 修作		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	03	文化薫る心豊かな人材の育成				
	施策	03	確かな学力と健やかな心や体を育む学校教育				
	基本事業	02	ICT教育の実践				
事業の目的	児童・生徒の情報活用能力の育成、校務のICT化による教職員の負担軽減。 GIGAスクール構想の実現。						
事業の概要	学校において校務、学習等に使用するICT機器・ソフトウェアの管理を行う。 国のGIGAスクール構想を推進する。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	5年度	6年度	7年度			
	実績/当初予算	実績	実績	当初			
	総事業費	108,854	107,333	380,251			
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	5年度 実績	6年度 実績	7年度 計画	8年度 計画
	活動	教育用コンピュータ1台当たりの児童生徒数	台	1	1	1	1
	活動	普通教室の無線LAN整備率	%	100	100	100	100
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	学習者用PCの修繕及び追加購入、APを適切に管理することで、一人一台の学習者用PC環境を維持することができた。					
見直し余地	判定	●数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	●見直し継続 ○現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	スクールカウンセラー活用事業			事業開始年度	平成26年度		
担当課	教育委員会 学校教育課			担当者	根本 広昭		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	03	文化薫る心豊かな人材の育成				
	施策	03	確かな学力と健やかな心や体を育む学校教育				
	基本事業	03	豊かな心の育成				
事業の目的	児童生徒が安定した学校生活を送れるよう、悩みがある児童生徒・保護者のカウンセリングを実施する。						
事業の概要	市費で小中学校8校に5人のスクールカウンセラーを派遣するほか、臨床心理士、スクールソーシャルワーカーによる相談等を行う。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	5年度	6年度	7年度			
	実績/当初予算	実績	実績	当初			
	総事業費	11,496	13,295	13,991			
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	5年度実績	6年度実績	7年度計画	8年度計画
	活動	市費スクールカウンセラー派遣時間	回	1,092	1,092	1000	1000
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	特に配慮が必要な児童生徒が安定した学校生活を送れるようにすることができた。 また、悩みがある保護者のカウンセリングを実施した。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	適応支援教室運営事業			事業開始年度	平成22年度		
担当課	教育委員会 学校教育課			担当者	根本 広昭		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	03	文化薫る心豊かな人材の育成				
	施策	03	確かな学力と健やかな心や体を育む学校教育				
	基本事業	03	豊かな心の育成				
事業の目的	不登校児童生徒等が、将来の社会的な自立に向けてエネルギーを養うことができる。						
事業の概要	適応支援教室に教育相談員を配置し、個に応じた支援を行うことにより心を安定させる。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	5年度	6年度	7年度			
	実績/当初予算	実績	実績	当初			
	総事業費	8,709	10,653	12,730			
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	5年度 実績	6年度 実績	7年度 計画	8年度 計画
	活動	適応指導教室通級児童生徒数	人	20	20	20	20
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	不登校児童生徒等が、将来の社会的な自立に向けてエネルギーを養うことができた。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ●余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小	業務量	○拡大 ●現状 ○縮小			

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	給食センター管理運営事業			事業開始年度	平成27年度		
担当課	教育委員会 学校教育課			担当者	宇田泰男		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	03	文化薫る心豊かな人材の育成				
	施策	03	確かな学力と健やかな心や体を育む学校教育				
	基本事業	06	安全・安心な教育環境の実現				
事業の目的	安心・安全でおいしい栄養バランスのとれた給食を供給する。						
事業の概要	昭和43年度より喜連川地区小中学校給食を開始、平成12年度に現施設に更新しており所長、栄養教諭（県職）、調理師、会計年度任用職員（調理員・配送員）で、管理運営。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	5年度		6年度		7年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	47,908		56,142		33,573	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	5年度実績	6年度実績	7年度計画	8年度計画
	成果	給食に関する事故等件数	%	0.001	0.003	0	
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	事故件数4÷年間食数159,539≒0.003%。異物混入4件。 令和6年4月9日：熟田小学校（繊維片）、令和6年6月18日：喜連川中学校（虫）、 令和6年9月11日：喜連川中学校（毛髪）、令和6年12月20日：熟田小学校（部品片） ○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
見直し余地	判定						
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ○現状どおり継続 ●廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ○現状 ●縮小		業務量	○拡大 ○現状 ●縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	小学校施設補修整備事業			事業開始年度	平成17年度		
担当課	教育委員会 学校教育課			担当者	笹沼 修作		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	03	文化薫る心豊かな人材の育成				
	施策	03	確かな学力と健やかな心や体を育む学校教育				
	基本事業	06	安全・安心な教育環境の実現				
事業の目的	小学校施設及び設備を、指導上、保健衛生上、安全上及び管理上適切な状態に維持する。						
事業の概要	各小学校施設及び設備の補修や整備。 現地調査・ヒアリングを行い、緊急度や重要度に応じて実施。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	5年度	6年度	7年度			
	実績/当初予算	実績	実績	当初			
	総事業費	25,202	270,527	272,561			
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	5年度 実績	6年度 実績	7年度 計画	8年度 計画
	成果	要望対応率	%	100	100	100	100
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	当初計画に加え、学校からの要望に対し、即時対応を実施することができた。					
見直し余地	判定	●数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	●見直し継続 ○現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	給食センター建設事業			事業開始年度	平成28年度		
担当課	教育委員会 学校教育課			担当者	笹沼 修作		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	03	文化薫る心豊かな人材の育成				
	施策	03	確かな学力と健やかな心や体を育む学校教育				
	基本事業	06	安全・安心な教育環境の実現				
事業の目的	老朽化した氏家地区小・中学校の自校式調理場を現行の基準にあった学校給食センターを建設し、新設された給食センターから全小中学校に給食を提供する。						
事業の概要	老朽化した氏家地区の自校式給食調理場からセンター方式として学校給食センターを新設する。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	5年度		6年度		7年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	36,556		1,573,116		1,994,997	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	5年度 実績	6年度 実績	7年度 計画	8年度 計画
	成果	給食センター建設数	施設	0	0	1	1
達成度の 評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	令和7年8月の供用開始及び補助金の活用を両立するため、適切に予算措置を行い、建築・機械・電気・厨房機器・外構工事を実施した。					
見直し余地	判定	●数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ○現状どおり継続 ●廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ○現状 ●縮小			業務量	○拡大 ○現状 ●縮小	

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	学校給食管理事業			事業開始年度	平成30年度		
担当課	教育委員会 学校教育課			担当者	國廣 梢		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	03	文化薫る心豊かな人材の育成				
	施策	03	確かな学力と健やかな心や体を育む学校教育				
	基本事業	06	安全・安心な教育環境の実現				
事業の目的	自校式給食の調理員の確保、厨房機器の管理、什器の購入、給食施設の整備、清掃等を適正に行い、安全・安心な学校給食を安定的に児童・生徒及び教職員に提供すること。						
事業の概要	調理業務委託、厨房機器等給食備品、消耗品等の購入、給食施設の整備点検、清掃、栄養教諭（士）に対する細菌検査等を行う。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	5年度	6年度	7年度			
	実績/当初予算	実績	実績	当初			
	総事業費	119,505	118,940	43,999			
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	5年度 実績	6年度 実績	7年度 計画	8年度 計画
	成果	事故等により給食が提供できなかった日数（小学校）	%	0	0	0	0
	成果	事故等により給食が提供できなかった日数（中学校）	%	0	0	0	0
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	老朽化が進む自校式給食室においても、適切に備品・消耗品を整備し、また衛生検査、清掃を実施することで、安全に給食を提供することができた。また、調理業務受託者も適切に業務を行ったため、全日給食を提供することができた。					
見直し余地	判定	●数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	●見直し継続 ○現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ○現状 ●縮小		業務量	○拡大 ○現状 ●縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	中学校施設補修整備事業			事業開始年度	平成17年度		
担当課	教育委員会 学校教育課			担当者	笹沼修作		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	03	文化薫る心豊かな人材の育成				
	施策	03	確かな学力と健やかな心や体を育む学校教育				
	基本事業	06	安全・安心な教育環境の実現				
事業の目的	中学校施設及び設備を、指導上、保健衛生上、安全上及び管理上適切な状態に維持する。						
事業の概要	各中学校施設及び設備の補修や整備。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	5年度	6年度	7年度			
	実績/当初予算	実績	実績	当初			
	総事業費	34,117	56,940	49,309			
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	5年度 実績	6年度 実績	7年度 計画	8年度 計画
	成果	要望対応率	%	100	100	100	100
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	当初計画に加え、学校からの要望に対し即時対応を実施することができた。					
見直し余地	判定	●数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	●見直し継続 ○現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	小学校施設長寿命化改良事業			事業開始年度	平成29年度		
担当課	教育委員会 学校教育課			担当者	笹沼修作		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	03	文化薫る心豊かな人材の育成				
	施策	03	確かな学力と健やかな心や体を育む学校教育				
	基本事業	06	安全・安心な教育環境の実現				
事業の目的	建築後40年以上経過した建物を対象として、老朽化した小学校を将来に渡って長く使用するため、建物の機能や性能を求められる水準まで引き上げる。						
事業の概要	さくら市学校施設長寿命化計画を基に非構造部材老朽化調査、外壁調査等を行い各施設の予防保全、再生整備を行う。学校施設長寿命化改良工事を行う。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	5年度	6年度	7年度			
	実績/当初予算	実績	実績	当初			
	総事業費	102,719	0	25,949			
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	5年度実績	6年度実績	7年度計画	8年度計画
	成果	長寿命化改修率	%	100	100	100	100
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	年次計画に基づき事業を実施した。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ●余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	●見直し継続 ○現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	●拡大 ○現状 ○縮小		業務量	●拡大 ○現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	中学校施設長寿命化改良事業			事業開始年度	平成29年度		
担当課	教育委員会 学校教育課			担当者	笹沼修作		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	03	文化薫る心豊かな人材の育成				
	施策	03	確かな学力と健やかな心や体を育む学校教育				
	基本事業	06	安全・安心な教育環境の実現				
事業の目的	建築後40年以上経過した建物を対象として、老朽化した中学校を将来に渡って長く使用するため、建物の機能や性能を求められる水準まで引き上げる。						
事業の概要	さくら市学校施設長寿命化計画を基に非構造部材老朽化調査、外壁調査等を行い各施設の予防保全・再生整備を行う。学校施設長寿命化改良工事を行う。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	5年度	6年度	7年度			
	実績/当初予算	実績	実績	当初			
	総事業費	12,187	312,234	0			
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	5年度 実績	6年度 実績	7年度 計画	8年度 計画
	成果	長寿命化改修率	%	100	100	100	100
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	年次計画に基づき事業を実施した。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ●余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	●見直し継続 ○現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	●拡大 ○現状 ○縮小		業務量	●拡大 ○現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	外国語教育推進事業			事業開始年度	平成26年度		
担当課	教育委員会 学校教育課			担当者	吉田 正哉		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	03	文化薫る心豊かな人材の育成				
	施策	03	確かな学力と健やかな心や体を育む学校教育				
	基本事業	07	英語教育の充実				
事業の目的	国際理解教育を推進するとともに、児童生徒の英語への関心・学習意欲を高揚しながらコミュニケーション能力を養い、英語教育の充実を図る						
事業の概要	小学校・中学校・公立保育園に英語指導助手・英語活動支援員を派遣する。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	5年度	6年度	7年度			
	実績/当初予算	実績	実績	当初			
	総事業費	36,408	38,096	41,070			
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	5年度 実績	6年度 実績	7年度 計画	8年度 計画
	活動	小学校における児童一人あたりの授業実施数	時間	39	39	39	39
	活動	中学校における生徒一人あたりの授業実施数	時間	70	70	70	70
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	小学校・中学校に英語指導助手（ALT）、小学校に英語活動支援員を派遣し、授業を実施した。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	市立中学校国際交流事業			事業開始年度	平成17年度		
担当課	教育委員会 学校教育課			担当者	田代 浩貴		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	03	文化薫る心豊かな人材の育成				
	施策	03	確かな学力と健やかな心や体を育む学校教育				
	基本事業	07	英語教育の充実				
事業の目的	生徒の国際的視野の拡大を図る 外国人と直接対話する経験を通じて、語学への関心を高める						
事業の概要	中学生徒から派遣団員を選考し、現地学校との交流やホームステイを行なう。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	5年度		6年度		7年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	9,940		11,463		15,180	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	5年度 実績	6年度 実績	7年度 計画	8年度 計画
	活動	事業参加生徒数	人	20	20	20	20
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	市内中学2年生20名をアメリカに9日間派遣し、4日間のホームステイを実施した。 現地中学校との交流を深めた。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ●余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	●拡大 ○現状 ○縮小			業務量	○拡大 ●現状 ○縮小	

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	さくら市斎藤奨学金事業			事業開始年度	平成26年度		
担当課	教育委員会 学校教育課			担当者	齊藤 直人		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	03	文化薫る心豊かな人材の育成				
	施策	03	確かな学力と健やかな心や体を育む学校教育				
	基本事業	99	総合事業				
事業の目的	経済的理由で進学を断念する子供が生じないよう、奨学金の貸付による財政支援を行うことで教育機会の増大を図ること。						
事業の概要	奨学金の貸付希望者から貸付する者を決定する選考会を開催する。 選考会開催時の選考委員への報酬を支払う。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	5年度	6年度	7年度			
	実績/当初予算	実績	実績	当初			
	総事業費	7	7	0			
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	5年度実績	6年度実績	7年度計画	8年度計画
	成果	希望者に対する貸付率	%	100	100	100	100
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	奨学金貸付希望者の選考を行い、基準を満たした者に対して貸付を行った。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ●余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	●見直し継続 ○現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	●拡大 ○現状 ○縮小		業務量	●拡大 ○現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	小中学校特別活動補助事業			事業開始年度	平成26年度		
担当課	教育委員会 学校教育課			担当者	上杉 萌花		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	03	文化薫る心豊かな人材の育成				
	施策	03	確かな学力と健やかな心や体を育む学校教育				
	基本事業	99	総合事業				
事業の目的	体育部・文化部の活動に対して財政的支援を行うことにより、これらの活動に参加する機会の増大、学習効果の発現を図り、もって児童・生徒の心身の健全な発達を促すこと。						
事業の概要	市立小中学校での児童・生徒の体育部・文化部の活動を通し、各自の体力・情操の発達及び充実を図るための活動に対して補助を行う。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	5年度	6年度	7年度			
	実績/当初予算	実績	実績	当初			
	総事業費	12,492	12,438	0			
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	5年度 実績	6年度 実績	7年度 計画	8年度 計画
	成果	児童一人当たりの補助金額	円	1,315	1,242	1,285	1,285
	成果	生徒一人当たりの補助金額	円	6,400	6,617	6,677	6,677
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	市立小中学校での児童・生徒の体育部・文化部の活動を通し、各自の体力・情操の発達及び充実を図るための活動に対して適切に補助を行うことができた。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ●余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	●見直し継続 ○現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	コミュニティ・スクール活用事業			事業開始年度	平成30年度		
担当課	教育委員会 生涯学習課			担当者	高瀬亮		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	03	文化薫る心豊かな人材の育成				
	施策	03	確かな学力と健やかな心や体を育む学校教育				
	基本事業	99	総合事業				
事業の目的	保護者や地域が学校の様々な課題解決に参画し、それぞれの立場で主体的に子供たちの成長を支えていく。						
事業の概要	保護者や地域住民が学校運営に参画する学校運営協議会制度の導入により、地域の力を学校運営に生かす地域とともにある学校づくりを推進する						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	5年度	6年度	7年度			
	実績/当初予算	実績	実績	当初			
	総事業費	497	1,135	1,299			
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	5年度 実績	6年度 実績	7年度 計画	8年度 計画
	活動	学校運営協議会への出席者数（延べ）	人	211	214	210	210
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	全校で学校運営協議会が開催され、各学校の特色に応じ、地域の力を学校運営に生かす地域とともにある学校づくりを推進した。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小	業務量	○拡大 ●現状 ○縮小			

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	さくら市給付型奨学金事業			事業開始年度	平成28年度		
担当課	教育委員会 学校教育課			担当者	齊藤 直人		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	03	文化薫る心豊かな人材の育成				
	施策	03	確かな学力と健やかな心や体を育む学校教育				
	基本事業	99	総合事業				
事業の目的	経済的理由で進学を断念する子供が生じないよう、入学金の給付による財政支援を行うことで教育機会の増大を図ること。						
事業の概要	奨学金の給付希望者から給付する者を決定する選考会を開催し、対象者に入学金相当額の給付を行う。選考会開催時の選考委員への報酬を支払う。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	5年度		6年度		7年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	382		1,430		0	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	5年度 実績	6年度 実績	7年度 計画	8年度 計画
	成果	給付人数	人	2	5	5	5
			人				
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	5名の応募があり、5名に給付金を支給した（上限人数5名）。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ●余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	●見直し継続 ○現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	●拡大 ○現状 ○縮小			業務量	●拡大 ○現状 ○縮小	

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	小学校教育振興事業			事業開始年度	平成30年度		
担当課	教育委員会 学校教育課			担当者	國廣 梢		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	03	文化薫る心豊かな人材の育成				
	施策	03	確かな学力と健やかな心や体を育む学校教育				
	基本事業	99	総合事業				
事業の目的	学校生活、授業、行事等の中で多彩な活動を引き出し、児童の学習意欲を高める。						
事業の概要	授業において、地域外部講師による書写及び各種指導を行う。 各種教育活動に必要な教材消耗品を整備する。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	5年度		6年度		7年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	14,374		14,910		15,751	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	5年度 実績	6年度 実績	7年度 計画	8年度 計画
		日常生活においても興味関心や気づきが増した児童数	人	2,461	2,446	2,363	2,363
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	地域外部講師による書写及び各種指導を授業で実施することで、児童の興味関心や意欲が高まった。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	中学校教育振興事業			事業開始年度	平成30年度		
担当課	教育委員会 学校教育課			担当者	國廣 梢		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	03	文化薫る心豊かな人材の育成				
	施策	03	確かな学力と健やかな心や体を育む学校教育				
	基本事業	99	総合事業				
事業の目的	学校生活、授業、行事等の中で多彩な活動を引き出し、生徒の学習意欲を高める。						
事業の概要	授業において、地域外部講師による書写及び各種指導を行う。 各種教育活動に必要な教材消耗品を整備する。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	5年度	6年度	7年度			
	実績/当初予算	実績	実績	当初			
	総事業費	9,437	9,942	11,378			
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	5年度 実績	6年度 実績	7年度 計画	8年度 計画
	活動	日常生活の中においても興味関心や 気づきが増した生徒数	人	1,250	1,209	1,198	1,198
達成度の 評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	地域外部講師による書写及び各種指導を授業で実施することで、生徒の興味関心や意欲が高まった。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	非常勤講師活用事業			事業開始年度	平成26年度		
担当課	教育委員会 学校教育課			担当者	田代 浩貴		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	03	文化薫る心豊かな人材の育成				
	施策	03	確かな学力と健やかな心や体を育む学校教育				
	基本事業	99	総合事業				
事業の目的	児童生徒の習熟度の向上及び学校生活の充足。 児童生徒の自ら学ぶ意欲の向上。						
事業の概要	市会計年度任用職員の非常勤講師等、理科支援員、部活動指導員、外国語支援員を小中学校に配置。そのほか、教員業務支援員等を配置。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	5年度		6年度		7年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	139,294		187,939		225,878	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	5年度 実績	6年度 実績	7年度 計画	8年度 計画
	活動	非常勤講師配置校数	校	8	8	8	8
達成度の 評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	市内小中学校に市採用非常勤講師を配置し、子どもたちの豊かな学校生活のために、個に応じた生活の支援を行い、児童生徒の習熟度の向上及び学校生活の充足に寄与した。 荒れた学校は無く、学力調査の結果でも県平均や全国平均を上回っている。 ○数年内に見直し可能 ●余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
見直し余地	判定						
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	●拡大 ○現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		